WJ テレプロンプター

取扱説明書

三脚をテレプロンプター専用で使う場合

三脚２台用

こちらは
「三脚をテレプロンプター専用で使う場合」の
取扱説明書です。
三脚を2台用意し、カメラとは別に
組み立てていきましょう

目次

◆製品のご紹介
梱包されているもの
各部品の名前
◆取り付け手順
【1】部品を組み立てましょう
【2】三脚に取り付けましょう
【3】モニター板を取り付けましょう
【4】ガラス板を正しく取り付けましょう
【5】前面モニターをつける
【6】セットアップ完了
◆もっとよく知る
困った時は…

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html

製品のご紹介

製品の特長

テレプロンプターWJ　をお買い上げいただきありがとうございます
テレプロンプターWJ　は、カメラの三脚に取り付ける撮影用機器です。

カメラレンズの前にハーフミラーを取り付け、
ハーフミラーに投影した原稿を読むことで、
出演者のカメラ目線を維持することができます。

PC 側のソフトで反転表示させ、LCD モニターに原稿を表示します。
カメラには原稿は映りません。原稿は自動でスクロールします。
カメラマン側からは、ミラーに映った原稿は見えません。
スタジオの撮影、スピーチ、演説、コンサートの撮影など幅広く利用できます。

WJテレプロンプター　ハードウエア	
サイズ	19インチ～22インチ
ガラス厚さ	2mm
ガラス反射率	50％
Video Inputs	BNC (Composite), VGA, HDMI
重さ	8kg
コンプライアンス	CE, FCC, ROHS

梱包されているもの

お買い上げいただいた商品には以下のものが同梱されています。
※パーツの細かい仕様、部品の色などは予期なく変更される可能性もあります。あらかじめご了承ください。

LCD モニター

LCD モニター

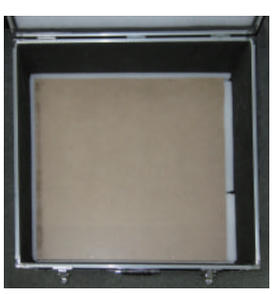
パーツ、ねじ、部品、コード類など

フードフレーム

ハーフミラー

フードフレーム

傷や汚れが
付かないように
白手袋でお取り
扱いください。
梱包材を軽く
解いたら安全な
場所へ置きます



ハーフミラー

カメラ用レール台……1
三脚用アタッチメント……1

通常はこのような状態で
梱包されています

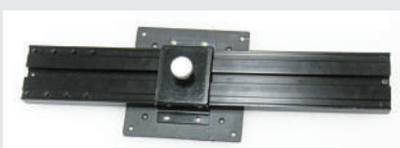
カメラ台……1　ミラー台……1

<図 1>

VGAケーブル

モニター用レール台……1
モニター用オプションパーツ…1
モニター用アタッチメント……2

通常はこのような状態で
梱包されています



ソフトウェア CD-R ……1
取扱説明書……1
小袋に入っているもの
　ドングル……1
　六角穴付皿ボルト (大 4 小 2)……6
　プラスねじ……2
　フードフレーム止めねじ……2
　六角レンチ……2

<図 1>

お客様側でご用意いただくもの

・カメラ　　・三脚 (カメラとプロンプターを別にする場合は二台必要です。耐荷重 20kg 以上)
・ドライバー類　　・白手袋 (ハーフミラーを取り扱う際に傷や汚れが付かないようなもの)

各部品の名前

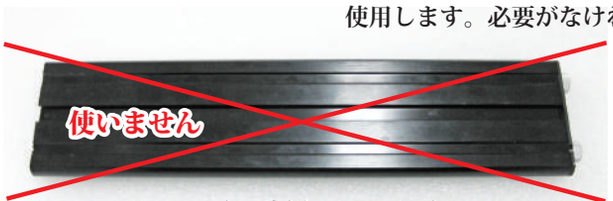
①アタッチメントがついてるものはいったん外しておきましょう

モニター用レール台とモニター用アタッチメント、
カメラ用レール台と三脚用アタッチメントは別々に外しておきます。

↑モニター用レール台 (長く、穴が開いている方)　< 図 2-1>

< 図 2-2>

↑モニター用オプションパーツ (穴がない方。前面モニターを利用する時に
使用します。必要がなければしまっておきましょう)



< 図 2-3>

↑カメラ用レール台 (片側にねじが二個ついているもの)

モニター用
アタッチメント二個
ねじを緩めて外します

モニター用アタッチメントの
留め金や穴の形状は
若干変わる場合もあります

< 図 2-4>

< 図 2-5>

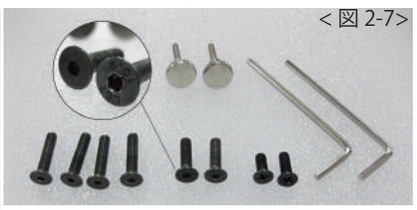
三脚用アタッチメント
丸の部分をコインやドライバーでゆるめて
レール台からスライドして外します

②フードフレームのフードも外しておきます

< 図 2-6>

フードは組み立てておきます

< 図 2-7>



ねじは数を確認しておきましょう

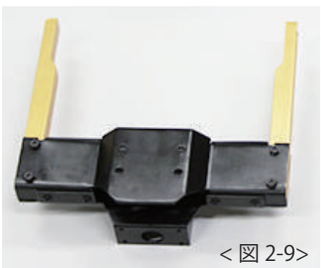
< 図 2-8>

カメラ台座
必要な時に使用します

③裏表など正しい位置がある物をここで確認しておきます。

＜図 3＞

ミラー台は
目盛がある方がカメラマン側

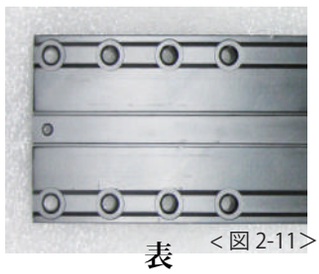


< 図 2-9>

ハーフミラーは
表裏を間違えるとぼやけます

< 図 2-10>

モニター用レール台は
くぼみのある側からねじを
締めます



< 図 2-11>

表

裏　< 図 2-12>

取りつける前に確認をしておくと
手戻りも少なく、スムーズに
設置が行えます

下準備

①モニター用レール台とモニター用アタッチメントの準備

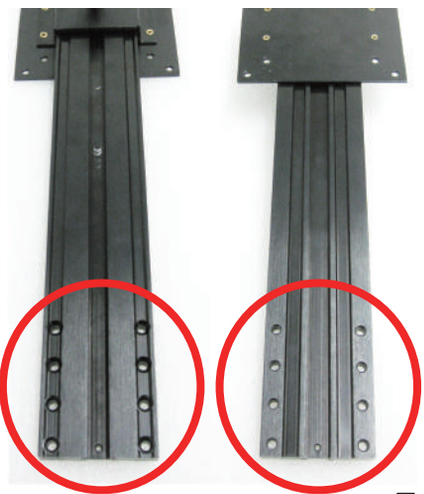


表　　裏　　< 図 3-1>

モニター用レール台には表と裏があります。
穴が窪んでいる方が表です。
モニター用レール台は表側からねじをはめていきます。

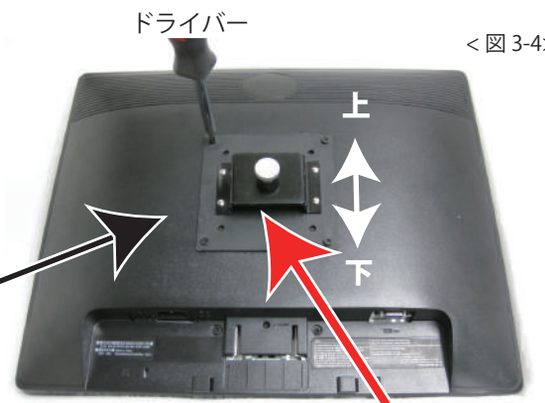
モニター用レール台の下準備をします。
長いほうの部品がテレプロンプターに使用する
モニター用レール台です。
(レールに穴がない方は前面モニター用のオプションパーツです。
オプションパーツは必要がなければしまっておきましょう)

< 図 3-2>

溝のストッパーとして
締められているねじを
始めに外しておきましょう。
ここのねじはモニターを設置した
後に滑り止めとして締めます。

向きを確認したらモニター用アタッチメントは
モニター用レール台から外しておきましょう。

< 図 3-3>

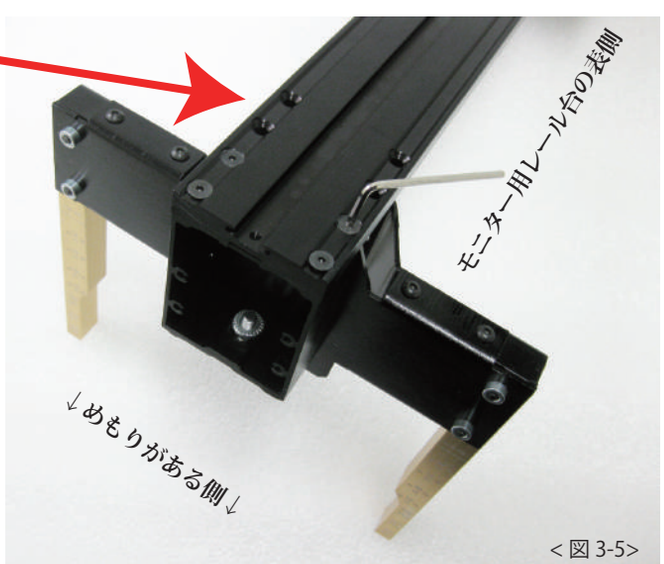


< 図 3-4>

モニター用アタッチメントは
モニターに設置しておきましょう。
モニターについているねじを外して取りつけます

空洞

②ミラー台とモニター用レール台を設置しておきましょう。



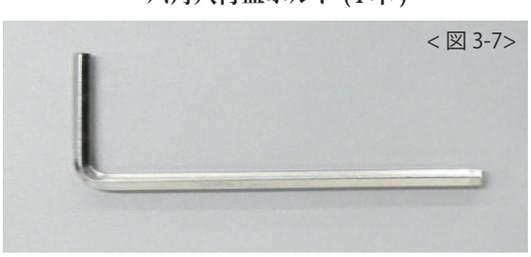
< 図 3-5>

モニター用レール台の端の 2 つ (計 4 つ) をねじで締めます

ミラー台はめもりがある側がカメラ側となります。
モニター用レール台の表側から
六角穴付皿ボルトを、六角レンチで締めていきます

< 図 3-6>

六角穴付皿ボルト (4 本)



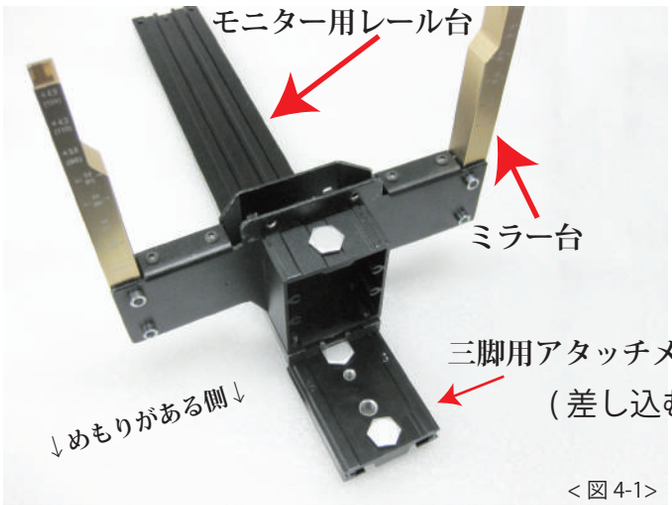
< 図 3-7>

六角レンチ

下準備

【2】三脚に取り付けましょう

モニター用レール台に三脚用アタッチメントを設置します



< 図 4-1>

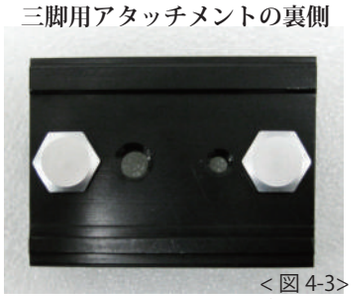
①三脚用 アタッチメントの
表側のねじを少し緩め、
裏側の六角形の金具を少し浮かせて
レール台の下側 (三脚側) の溝に
引っかかるようにセットしましょう。

三脚用アタッチメントの表側

< 図 4-2>

ここをコインや
ドライバーなどで緩める

三脚用アタッチメントの裏側


< 図 4-3>

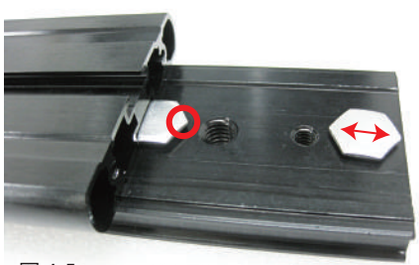
六角形の金具がスムーズに
レール台に通るように少し浮かせる

< 図 4-4>

この部分に引っかけるように
差し込みます

レール台にアタッチメントを差し込む際には、金具の六角形の位置に注意して下さい。

レール台の下側の溝と、アタッチメントの裏側の六角形の辺とが平行になるようにレール台に差し込みます。


< 図 4-5>

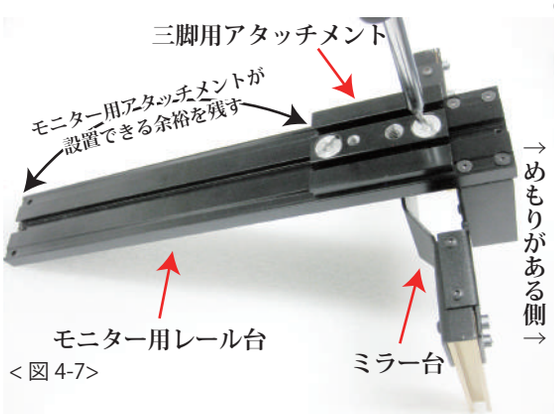
三脚用アタッチメント

○ とがっている部分と
平行になるように差し込みます

< 図 4-6>

三脚用アタッチメント

✕ とがっている部分と溝が垂直になると、
とがっている部分が引っかかって入りません



< 図 4-7>

②三脚用アタッチメントの位置を調整し、
ドライバーなどでねじを締めて固定してください
三脚用アタッチメントはモニター用アタッチメントが入る余裕を残して
配置するようにしてください。

前面にモニターを増やす場合は重量が増えるので
バランスよく配置して下さい

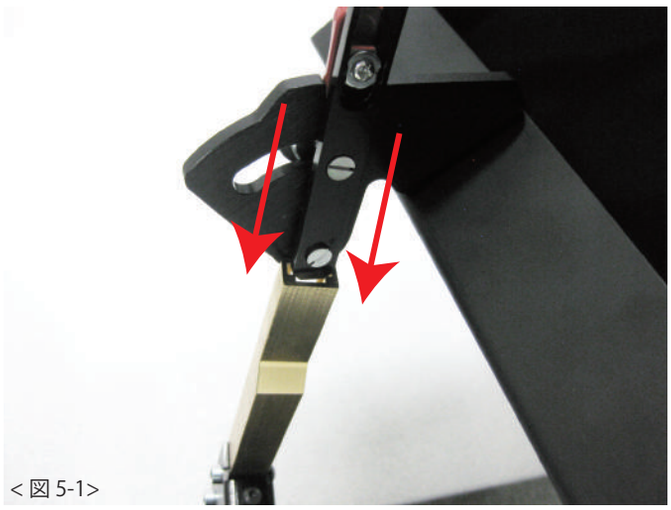
< 図 4-8>

③三脚にアタッチメントのねじ穴を合わせ
レール台ごと回してねじを締めます。
緩むことのないように取り付けましょう。

【3】フードフレームの枠を設置

フードフレームの枠を設置します

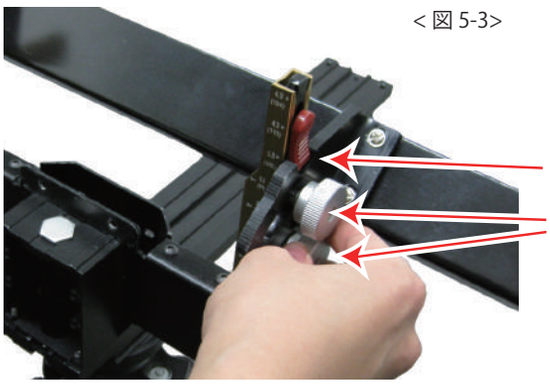
内側のバーをそれぞれ挿入します



< 図 5-1>

< 図 5-2>

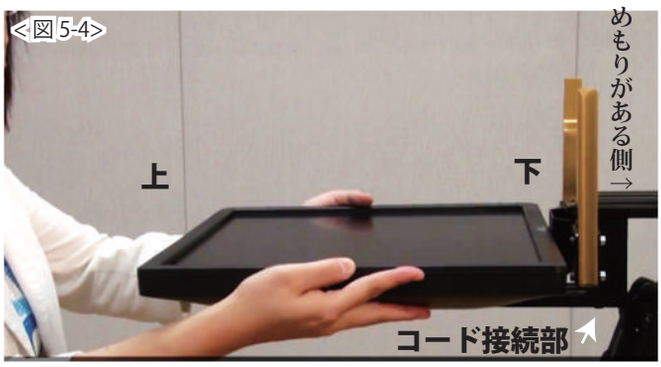
< 図 5-3>



カメラが来る位置に合わせて、
めもりの高さを調整しましょう

赤いストッパーが溝に入っている事を確認したら
銀色のねじを両方とも締めます

モニター画面が上になるように、
モニター用レール台にモニターを通してください



<図 5-4>

モニターのコード接続部分が
カメラマン側に来るように設置しましょう

<図 5-5>

位置を決めたら、モニター板についている
銀色のねじをしめてください。

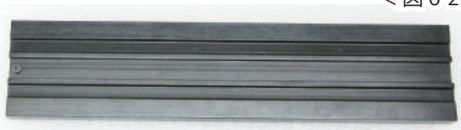
【オプション】前面モニターを使う場合　【3】モニターの取り付け

<図 6-1>

プロンプターの前面にモニターをつけ、
顔出しのチェック用や、
時間の表示などにお使い頂けます。

（前面用のモニターは付属しておりません
お客様側でご用意ください
使用しない場合はこのページを飛ばして
次のページへお進みください）

ここで必要な部品

<図 6-2>


<図 6-3>

<図 6-4>

モニター用オプションパーツとモニター用アタッチメント、六角穴付きねじ。モニターはお客様側でご用意ください。

<図 6-5>

①短めの板には、穴が２つついている面があります。

<図 6-6>

②モニター用レール台と六角穴付きねじで結合します

<図 6-7>

③このような形になりました。

<図 6-8>

④前面の短いモニター板に、モニター用アタッチメントを
つけたモニターを装着させてください。

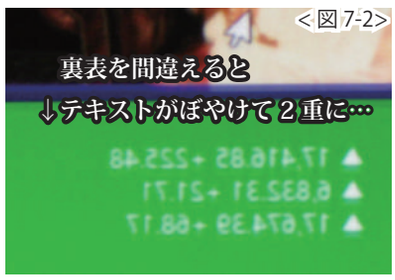
作業する際にモニター用レール台が短く、
モニター用オプションパーツが設置しづらい場合は
ミラー台をいったん外し、
モニターの位置をずらして作業を行ってください。

ハーフミラーを設置しましょう

まず、白手袋を装着し、傷や汚れのつかないように気をつけて梱包材から取り出します

<図 7-1>

ハーフミラーには表と裏があります
表裏を間違えると
文字などがぼやけてしまいます
シールを確認し、
正しく設置をするようにしましょう



<図 7-2>

カメラ側を手前にハーフミラーを枠に乗せます。上から差し込むようにスライドさせて入れてください。
枠は鉄製なので、ガラスが割れてしまわないように、置く直前に裏側から指を添えるなどして慎重に置いてください。

この状態から…

<図 7-3>

<図 7-4>

<図 7-5>

その上にフードを載せます

フードも同様に、フレームに取り付けます。
上から差し込むようにスライドさせて入れてください。

<図 7-6>

<図 7-7>

フードフレーム止めねじでフードと枠を留めます

セットアップ完了

<図 8-1>

モニターとVGAケーブルでパソコンにつなぎましょう

<図 8-2>

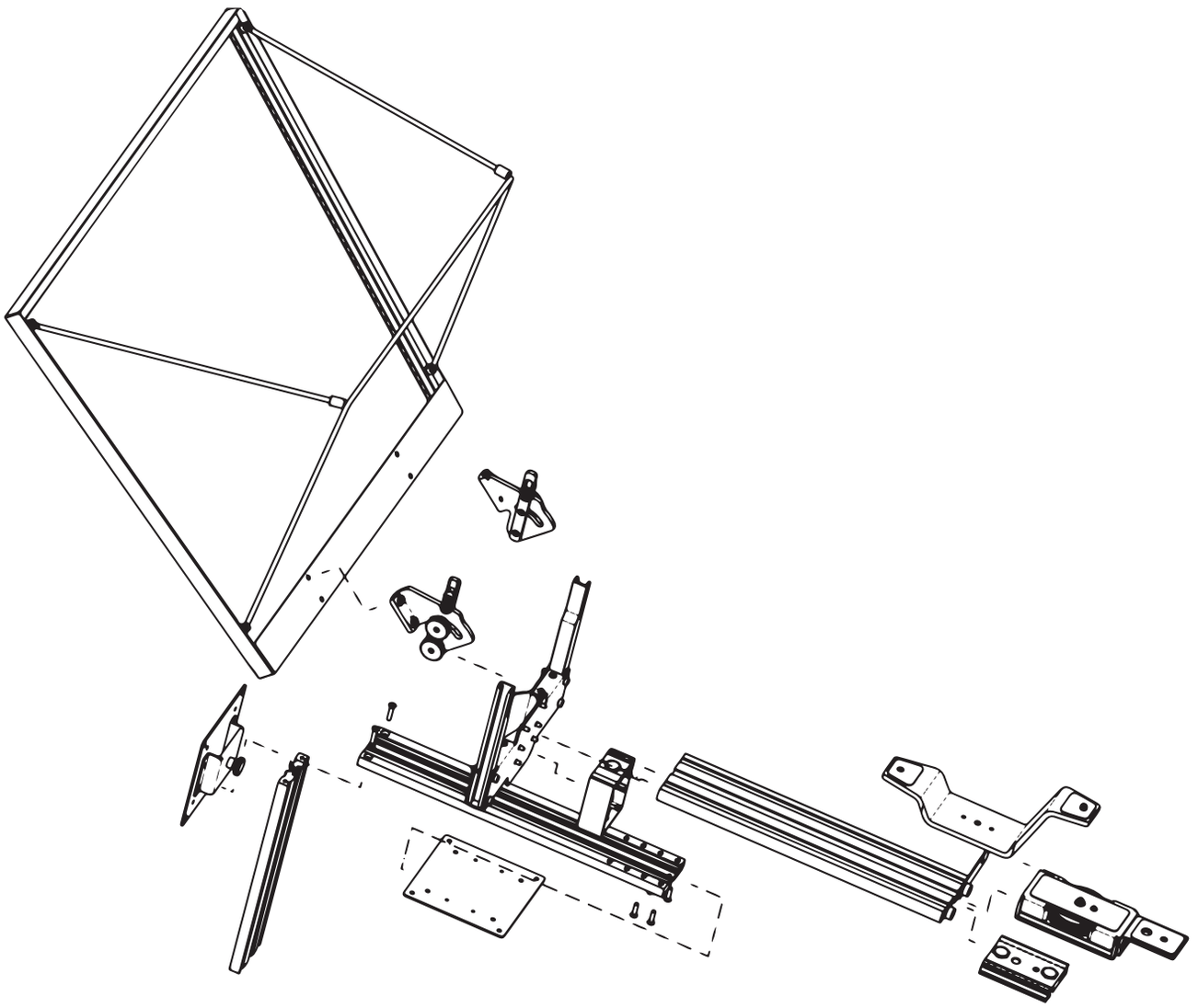
< 図 8-3>

ドングル

モニタの電源を入れると
このようになります

画面を反転する場合は
パワーポイントなどのソフトを
使用するか

付属する「ドングル」で専用の
ソフトウェアを使用して反転させます



取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html

お問い合わせはこちらまで

アテイン株式会社

〒101-0041 東京都 千代田区神田須田町 2 丁目 19 番 8 号　酒井ビル

TEL 03-3255-4721　Mail　info@attainj.co.jp　Web　http://www.attainj.co.jp/

【YouTube：Attain チャンネル】　http://www.youtube.com/user/AttainDVD